資　　料　　1
令 和 8 年 11 月 10 日
武蔵野市廃棄物に関する市民会議

ペットボトル毎週収集関連施策及び食育フェスタの実施について（報告）

1　ペットボトル毎週収集

当　初　予　定	・令和８年７月１日より毎週収集実施
現　　況	・予定通り実施した。 ・昨年度同月比は別紙１のとおり。 ・令和８年度第１回武蔵野市ごみ収集業務委託事業者情報共有会では、従前からの収集日と追加された収集日を比較すると、従前からの設定の日における収集量の方が多い傾向にあると、委託事業者担当者より話があった。
今後の対応（案）	・実施状況を継続して把握する。

2　市指定有料ごみ処理袋へのバイオマスプラスチック導入【第 10 期第１回報告事項】

当　初　予　定	・高密度ポリエチレンをベースにバイオマスプラスチックを加えた市指定有料ごみ袋を令和８年度作成分より導入
現　　況	・中東情勢の影響によるナフサ調達の懸念を受け、材質変更による安定供給を図ったが、その後他自治体が先行して材質変更をしたことにより生じた高密度ポリエチレンの在庫を活用できることとなり、従前と同様の高密度ポリエチレンの袋を作成している。 ・上半期の市指定有料ごみ処理袋（家庭）の取扱店発注実績を比較すると次のとおり。
今後の対応（案）	・現在の高密度ポリエチレンの在庫がなくなり次第、低密度ポリエチレンをベースとしたバイオマスプラスチックを加えた市指定有料ごみ処理袋を作成する。 ・令和９年度作成分については、中東情勢等を考慮し判断する。

種類大きさ	家庭５リットル	家庭 10 リットル	家庭 20 リットル	家庭 40 リットル
前年度比	＋11%	＋８%	＋５%	＋７%

3　屋外給水拠点の設置【第９期第３回・第４回資料】

当　初　予　定	・境南ふれあい広場公園に常水タイプを１箇所設置
現　　況	・健康福祉部健康課が熱中症対策として市内 15 箇所の公共施設に屋内給水（冷水あり）設備を設置した。 ・設置機器と設置場所は別紙２のとおり。 ・設備を提供したウォータースタンド㈱と「熱中症対策及びペットボトル削減の推進に関する協定書」を取り交わした（主管課：健康課及びごみ総合対策課）。 ・常水タイプではなく冷水タイプの設置及び設置箇所等含めて再度検討とし、令和８年度予算において補正減とした。
今後の対応（案）	・11 月 15 日（土）実施予定の環境フェスタにおいて、設置機器のデモ機を展示予定。 ・屋外給水拠点については設置の有無も含めて総合的に検討する。

資　　料　　1
令 和 8 年 11 月 10 日
武蔵野市廃棄物に関する市民会議

4　スマートごみ箱【第９期第６回参考資料】

当　初　予　定	・エコリゾート玄関に２基設置し、５年間の検証を行う。
現　　況	・(公財) 日本容器包装リサイクル協会の品質調査と同基準で品質調査を実施した。実施状況及び結果は別紙３のとおり。
今後の対応（案）	・当初の予定通り、定期的に検証を継続する。 ・渋谷区や京都市のような街中への展開については、現段階では予定していない。

5　食品ロス対策

当　初　予　定	・食育フェスタ（健康課主催）にて食品ロス対策の取組として、食品ロスしないレシピの実演と試食提供を実施する。
現　　況	・10 月 31 日（土）に保健センターにて実施。 ・テーマは“「地産地消で、余さず中華の炒め煮」 ～地元野菜の葉茎も主役に～”とした。料理サンプル写真及び当日の実施状況は別紙４のとおり。 ・184 食を提供した。 ・レシピカードは合計 132 枚頒布した （令和８年度版 58 枚、令和７年度版 42 枚、令和６年度版 32 枚）。
今後の対応（案）	・令和５年度から３箇年実施した試食提供の実績等を踏まえて、今後の食品ロス対策を検討する。